

令和2年度 旭市水道事業会計決算の概要

※金額は、消費税及び地方消費税を含む。

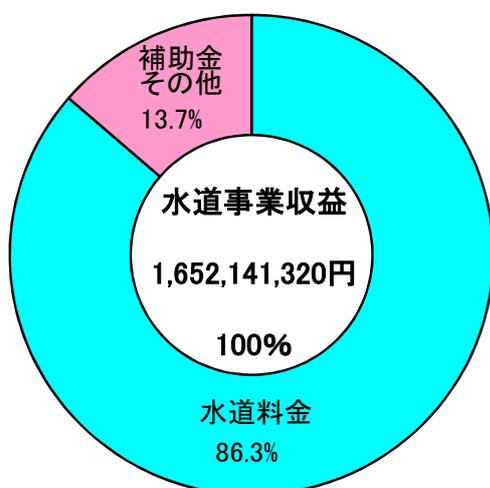
1. 決算の内訳

《収益的収支》

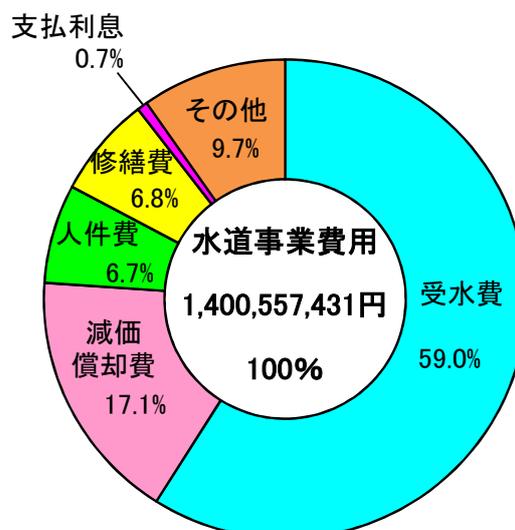
収益的収支とは、水道施設の運転・管理など、事業を運営するための収支のことです。

具体的には、収入は主に水道料金で、支出は受水費(東総広域水道企業団から水道水を購入する費用)、減価償却費、人件費、修繕費などです。

水道事業収益の構成割合



水道事業費用の構成割合



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
水道事業収益	1,666,048,000	1,652,141,320	△ 13,906,680
営業収益	1,456,843,000	1,436,304,129	△ 20,538,871
(うち水道料金)	(1,441,589,000)	(1,426,438,629)	(△ 15,150,371)
営業外収益	209,205,000	215,837,191	6,632,191
水道事業費用	1,479,162,000	1,400,557,431	△ 78,604,569
営業費用	1,417,995,000	1,360,802,665	△ 57,192,335
(うち受水費)	(825,812,000)	(825,811,235)	(△ 765)
営業外費用	39,920,000	39,713,366	△ 206,634
特別損失	1,247,000	41,400	△ 1,205,600
予備費	20,000,000	0	△ 20,000,000

令和2年度の消費税差引後の純利益は、244,733,439円になりました。

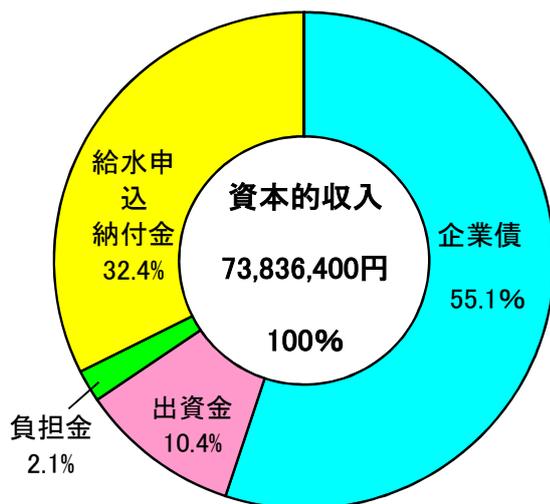
※特別損失とは、不納欠損処理額などです。

《資本的収支》

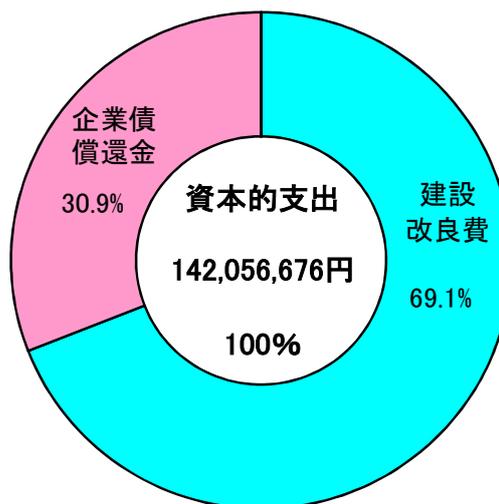
資本的収支とは、水道施設を建設・整備するための収支のことです。

具体的には、収入は企業債、出資金、負担金、給水申込納付金などで、支出は主に建設改良費（水道管の布設や布設替工事など）、企業債償還金（借入金の返済）です。

資本的収入の構成割合



資本的支出の構成割合



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
資本的収入	98,118,000	73,836,400	△ 24,281,600
企業債	44,000,000	40,700,000	△ 3,300,000
出資金	12,260,000	7,700,000	△ 4,560,000
負担金	11,732,000	1,551,000	△ 10,181,000
給水申込納付金	30,126,000	23,885,400	△ 6,240,600
資本的支出	235,357,000	142,056,676	△ 93,300,324
建設改良費	171,424,000	98,125,590	△ 73,298,410
企業債償還金	43,932,000	43,931,086	△ 914
その他資本的支出	1,000	0	△ 1,000
予備費	20,000,000	0	△ 20,000,000

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 68,220,276円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 6,685,530円、減債積立金 43,901,318円、過年度分損益勘定留保資金 17,633,428円で補てんしました。

※消費税及び地方消費税資本的収支調整額とは…資本的支出に係る消費税・地方消費税から資本的収入に係る消費税・地方消費税を差し引き、内部に留保されている資金です。

※減債積立金とは…企業債の償還に充てるための積立金です。

※損益勘定留保資金とは…減価償却費など、費用として計上されていますが、実際には現金支出を伴わないため、内部に留保されている資金です。

2. 業務量

項目	業務量
給水人口	57,176人
給水件数	20,991件
年間給水量	6,216,697立方メートル
年間有収水量	5,760,798立方メートル
有収率	92.7%
1日平均給水量	17,032立方メートル
主な建設改良事業	二地区配水管布設工事 飯岡配水場高区圧カタンク更新工事 イ地区配水管布設工事 事業費 計 70,631千円